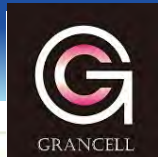
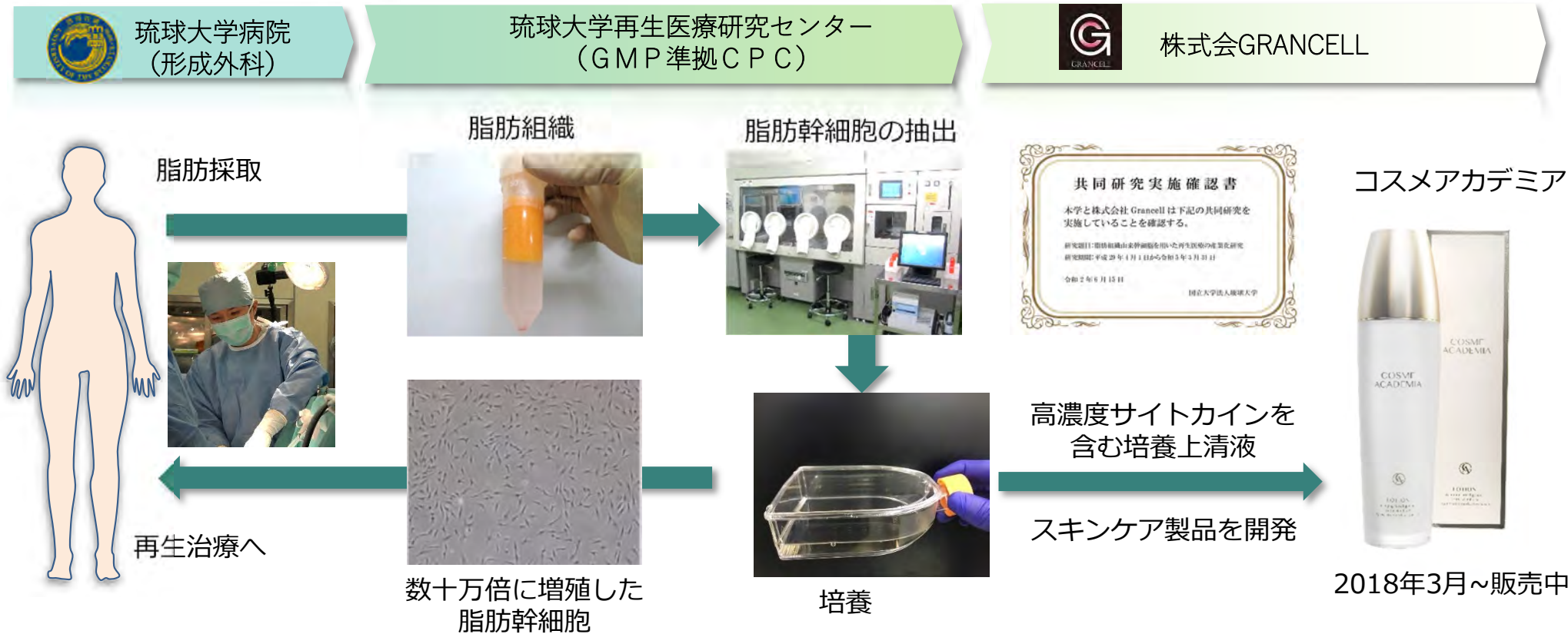


3. (株) Grancellの取組 【企業・市場領域⑥】

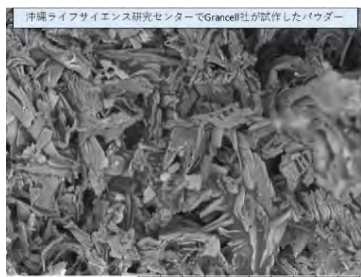


琉球大学から再生医療研究の技術移転を受けたスキンケア製品の開発



細胞培養の基礎研究と培養上清液の産業化について

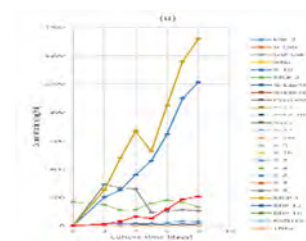
培養液の保存性の実験



自社設備での培養方法の検証



培養液中のサイトカインデータの蓄積



3. オーピーバイオフィクトリー（株）の取組【企業・市場領域⑦】

(1) 活動意義

当社は「沖縄の海洋生物資源の持続的活用をもって人類や社会の進歩・発展に貢献する」という理念のもと、有用成分の探索と社会実装に努めてまいりました。生物資源ビジネスのバリューチェーンは、生物採集から始まり、有用性探索、育種、原料生産、商品企画、販売と多様なスキル、ノウハウを要し、1社での能力、努力のみでは成し得ないものです。本コミュニティ内での連携を活かすことができれば事業の推進、社会への貢献が加速されるものと考えます。

(2) 必要な機能と取組

事業を成功に導くにはコミュニティに属している組織がそれぞれの得意分野に集中し、蓄積したデータアセット、プラットフォームを本コミュニティ内で共有し、産学官が連携を深めることが重要です。

当社が近年注力している微細藻類を利用した素材開発および社会実装においては、有用株を探索し、生産方法を構築するバイオフィクトリー機能、および、その先の大量生産に関する設備整備および生産ノウハウの構築が必要となります。前者については当社が独自で構築が可能であるが、後者については設備投資額も大きくなり、1社ですべてを賄うのは非効率的であると考えている。そこで、発見された多様な有用株を生産できる拠点「Algae Farm」を当社が主体となり、コミュニティ内での連携を活用して構築していきたいと考えている。

(3) リソースと実績

①体制・キーパーソン

代表取締役 金本昭彦：会社全体の事業開発方針策定を担当し、且つ生物資源収集から微細藻類スケールアップ方法構築を担当、自社開発品のパプロバや受託生産実績が豊富

研究員 藤原健史：微細藻類の小規模培養検討、成分探索を担当

研究員 渡邊崇史：生産された微細藻類の原料化プロセス検討を担当

②施設・設備等

微細藻類関連では小規模培養検討設備、国内最大規模のガラスチューブ型フォトバイオリクター、培養液回収後原料化検討関連設備を保有し、それら設備を活用して自社製品の開発および企業、アカデミアから大量培養検討依頼を受けています。

藻類以外の生物資源探索で共通して仕様する、アッセイ関連機器、化合物精製関連機器、化合物同定用機器類（LC/MSなど）も多数保有しています。



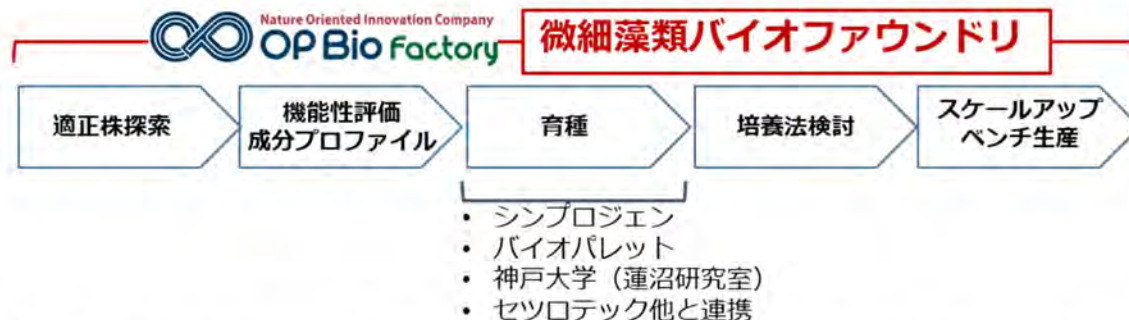
ガラスチューブ型フォトバイオリクター

3. オーピーバイオフィクトリー（株）の取組【企業・市場領域⑦】

③これまでの実績

2006年に創業以来、医薬、食品、化粧品、化成品、環境関連領域におけるシーズ探索事業を行っており、企業受託案件および自社開発案件で多くのシーズを発見してきました。近年注力している微細藻類関連では、微細藻類バイオフィクトリー機能を利用して開発した、フコキサンチン高生産株微細藻類パブロバ（沖縄本島北部にて採取した株）を世界で初めて高密度大量培養に成功し、パブロバを利用した商品を上市している。

微細藻類バイオフィクトリーの構築とサービス提供



株探索から機能性評価、育種、培養法検討、スケールアップ検討までの微細藻類バイオフィクトリー機能を提供

更に

株探索から最終商品上市まで、パブロバでの実績、ノウハウを活用した一貫通貫型のコンサルティングサービスも提供可能

公益財団法人沖縄科学技術振興センター

事業目的

亜熱帯地域、島嶼地域等の有する諸問題等に関し、国際的視野に立って学際的、総合的に研究するとともに、国内外研究機関との共同研究や学術交流、研究機関相互のネットワーク構築、さらに、産学官共同研究や知的クラスターの形成を推進することにより、本県の振興開発のみならず、日本及びアジア太平洋地域の学術・研究の振興に寄与することを目的とする。

実施事業

沖縄イノベーション・エコシステム共同研究推進事業 (出口志向型研究支援業務) 令和4年度～

オープンイノベーションを誘発し、イノベーション・エコシステムの形成を推進するため、県内大学等を核とした共同研究等に対し支援を行うものです。

具体的には、県内大学等の研究シーズと企業ニーズとのマッチングを行うとともに、事業化を目指した産学連携による出口志向型の共同研究等を支援します。併せて、出口志向型の共同研究等の成果を活用した実用化研究等を支援します。

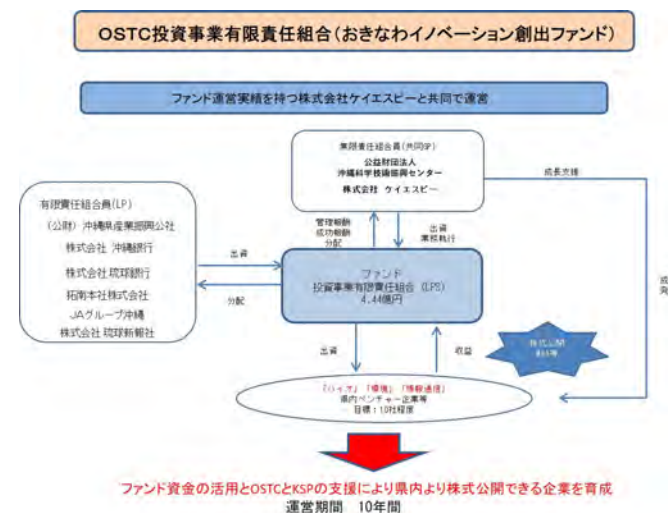
これらの取組を推進し、県内大学等の研究シーズを事業化に繋げることを目的としています。

ヒト介入試験プラットフォーム構築事業委託業務 令和4年度～

この事業は沖縄県内における県内食資源等の商品開発を行う企業が当該試験を県内で恒常的、且つ、経済的に利用できる体制構築を目的としています。

事業実施にあたっては、当財団が管理法人を担い、名桜大学及び一般社団法人DREAMMAESTRO、沖縄工業高等専門学校が共同体構成員として連携し、これまで名桜大学に蓄積された小スケールのヒト介入試験実績を基盤として、外部有識者からなる推進委員会の助言を踏まえ、県内食資源等の商品開発を行う企業から提供された商品により、ヒト介入試験を実施します。これらの取組みにより、名桜大学、沖縄工業高等専門学校を中心としたヒト介入試験のプラットフォームを県内に構築します。

運用中ファンド



事業実績一例

事業名称	実施期間
沖縄科学技術イノベーションシステム構築事業 (出口志向型研究支援業務)	平成27年度～令和3年度
成長分野リーディングプロジェクト創出事業	令和2年度～令和3年度
沖縄感染症研究成果活用促進事業コーディネート委託業務	平成27年度～令和2年度
先端医療技術実用化促進事業	
知的クラスター形成に向けた研究拠点構築事業	平成22～27年度

3. イノベーションサポート沖縄(株)の取組【支援機関】



イノベーションサポート沖縄
Innovation from Okinawa

沖縄ライフサイエンス 研究センターの指定管理者



<ベンチャー支援>

沖縄県が所有するレンタル施設の管理・運営

- ・入居開始: 2013年5月(平成25年)
- ・敷地面積: 9,000㎡、延床面積: 2,970㎡
 - 1) 研究室(大・中・小) 16室
 - 2) 動物室(マウス、ラット)
 - 3) 共用機器(約50種類)

<人材支援>

・沖縄県委託事業として運営開始(2019年)

沖縄バイオ人材マッチング

沖縄県内外にお住まいで、
沖縄での仕事をお探しの方

求職者情報掲載

求人情報掲載

沖縄県内に事業所をもつ
バイオ系求人企業等

沖縄バイオ人材マッチング
WEBサイト(掲示板)
<https://www.okinawa-biojinzai.com/>

【職種】

- ・技術系人材(研究者、技術者、研究補助者)
- ・総務系人材(総務、経理、人事・労務)
- ・経営・企画系人材(経営、ファイナンス、経営企画、知財)

※登録・利用は無料です。
※バイオ系: 医療健康、食品、創薬、化粧品、環境分野等

U・I ターン、県内人材募集

技術系人材の確保を目的として、バイオ系企業の求人情報、求職者情報を掲載するWebサイトを運営

沖縄型産業中核人材育成事業
 (令和2年度)内閣府委託事業

【健康食品(機能性食品)や化粧品等のウェルネス産業を支える中核人材の育成】

- ・企画・開発・生産・品質保証・営業等各部門を総合した知識・技能を広く有する人材
- ・横断的に組織・企業等をつなぐ役割を担う人材

- (1) ウェルネス産業における生産性の向上
- (2) 商品企画・マーケティング・ブランド力の強化
- (3) 新製品の開発、新市場の形成、雇用の創出
- (4) コロナショック後のウェルネス産業のV字回復
- (5) 感染症等の突発的要因に左右されやすい観光産業への極度な依存から脱却し、ウェルネス産業をもう一つ柱とするリーディング産業へと成長

バイオ・サイト・
キャピタル(株)
(代表構成員)
(一社)TTP
(株)RDサポート

57名参加





地域バイオコミュニティの実施計画

1. あるべき姿の実現に向けた具体的な方策

あるべき姿

具体的な方策

持続可能な
産業振興

● 沖縄の生物資源等を活かした高付加価値な技術・製品・サービス創出、地理的優位性を活かした海外展開・呼び込み

● 高付加価値の技術・製品・サービスが地域外に波及することで投資と人材が地域内に呼び込まれる好循環が構築

● 県内大学等や企業が持つ研究成果や技術等が社会課題解決に貢献

● 健康・医療等ビッグデータが様々な分野において有効に活用され、製品開発・サービス提供に貢献

社会課題
解決

ネットワークの構築

研究・技術・製品開発

情報発信・マッチング

人材育成・確保

社会課題解決

データベース利活用